

## 第 31 回鹿児島県大学図書館協議会総会議事録

1. 日時 平成 22 年 5 月 28 日（金）
2. 場所 鹿児島純心女子大学会議室（管理棟 2 階）
3. 出席者 加盟館 10 大学 1 高専 オブザーバー館 1 館 24 名
4. 欠席者 オブザーバー館 1 館

配布資料

- ① 第 31 回鹿児島県大学図書館協議会総会資料
- ② 鹿児島県地域共同リポジトリ構想案（5p）

### 5. 議事

本年度の代表館（鹿児島純心女子大学、以下省略）の進行で開会。役員館である、鹿児島純心女子大学、鹿児島女子短期大学の紹介のあと、代表館館長犬塚氏より開会挨拶。慣例により議長には当番館館長犬塚氏を選出。出席者の自己紹介の後、議事に入った。

#### (1) 平成 21 年度会務報告

平成 21 年度代表館（鹿児島純心女子短期大学）より平成 21 年度の会務報告が行われた。

#### (2) 平成 21 年度決算報告及び監査報告

平成 21 年度代表館により決算報告があり、引き続き平成 21 年度監査館（鹿児島女子短期大学）により監査報告があり、両件とも承認された。

#### (3) 平成 22 年度事業計画

##### ① 研修委員会について

研修委員会副委員長（鹿児島純心女子大学）より平成 22 年度第 1 回研修委員会の会務報告が行われた。今年度も講演会、研修会を各 1 回ずつ行うという事業計画案が出され、承認された。

##### ② 会報編集委員会について

・会報編集委員長（鹿児島純心女子大学）より平成 22 年度第 1 回会報編集委員会の会務報告が行われた。事業計画については、本年度もホームページの更新作業、リーフレットの作成をするということが承認された。

・委員会の名称変更について、名称を広報委員会に変更できないかとの提案があり、承認された。それに伴い、「鹿児島県大学図書館協議会会報編集委員会規程」を 5 月 28 日付で廃止、条文等を変更した上で「鹿児島県大学図書館協議会広報委員会規程」を同日付で実施。

また、「鹿児島県大学図書館協議会会則」の必要箇所を改正し、こちらも、5 月 28 日付で実施。

#### (4) 平成 22 年度予算審議

平成 22 年度代表館より平成 22 年度予算案が提案され、審議の結果、原案どおり承認された。また、例年、鹿児島県図書館大会で配布するリーフレットの袋詰め作業を行っている有志の委員の交通費を予備費から支出できないかという提案があり、審議の結果、承認された。

#### (5) 情報交換

- ・機関リポジトリに関して

鹿児島大学より説明。鹿児島大学井上館長の補足説明が、以下の通り。地域共同リポジトリは学内で生産された学術情報を地域社会に向けて発信していく役割を担っている。そういった流通体制を支えるのは図書館の大きな役割だが、それに参加するかどうかを意思決定するのは図書館ではなく大学。各大学の学長が参加する組織「大学コンソーシアム鹿児島」へ鹿児島県大学図書館協議会（以下、県大図協）から話をもっていったらどうかと考えている。体制ができた暁には各図書館が支えるという意思決定と、コンソーシアムへこの提案を投げかけてよいかという2点について一定の方向性を決めてほしい。

審議の結果、鹿児島大学より叩き台になる資料を各図書館あてに送るので、それを基に各図書館にて前向きに検討していくこととなった。

- ・横断検索

県立図書館より横断検索についての状況報告 以下の通り。システムの更新にあたり横断検索の機能も追加して予算化してある。各市町村、大学へ行った調査の結果、22市町村が参加、11大学が参加予定。基本的に大学が現在使っているシステムをそのまま使用。8月頃、再度、各市町村、大学へ調査依頼を行う予定。導入に際して大学側の費用負担、図書館システムの修正も必要なし。今後大学の図書館システムに変更があっても再設定に費用はかからない。ただし、学内に検索システムがあるということが前提。平成23年1月12日から末日まで県立図書館は休館予定。

(6) その他

会報編集委員会の名称変更に伴う「鹿児島県大学図書館協議会の補助金に関する申し合わせ」「鹿児島県大学図書館協議会ホームページの運用に関する申し合わせ」の追加の修正あり。

以上議事審議終了後、議長より次回代表館の紹介があり、閉会。